COMTEC
Other Solutions . . .
in-formation
Home | Topics | Show Room | Contact Us | Search&Map
FAQ&Tips
SOFTIMAGE 3D
News | Users | Products | FAQ&Tips | Support | School | Links | Hardware | Members

> User interface
> File format
> Modeling
> Animation
> Material/Rendering
> MentalRay/Shader
> Particle
> Install
> PHOENIX TOOLS
> DNT
> SDK-Saaphire
> SDK-MentalRay
> from SOFTIMAGE Web
> Others

SOFTIMAGE 3D FAQ&Tips

Softimage操作画面のスクリーンショットを取る方法

[IRIXの場合]

- 基本的にはscrsaveコマンド、もしくはsnapshotコマンドで可能です。ただし、Softimageではオペレーション中は、全画面を占有するため、オペレーション画面のショットを撮るにはコツが必要です。

方法 1:

1. Softimageを起動し、キャプチャしたい画面を用意します。
2. Tools - Shell にてシェルウィンドウを開きます。
3. シェルウィンドウにて以下のコマンドを入力します。

```
> sleep 10; scrsave out.sgi &
```

4. コマンド実行後10秒後にキャプチャが始まります。直ぐにプロンプトが返ってきますので、素早くexitと入力し、ウィンドウを閉じ、キャプチャに備えて下さい。
5. キャプチャ後、カレントディレクトリにout.sgiというファイルができあがります。これはSGIフォーマットですので、ipasteコマンドなどでビューイングできます。

方法 2:

- この方法はネットワーク上につながれたもう一台のマシン（マシンBとします）があるものとし、そこからscrsaveコマンドを発行する方法です。マシンBは、Softimageを起動するマシン（マシンAとします）へtelnetしてログインできるマシンであれば、何でも構いません。（Windows95や98、NTでもOKです）

1. マシンAでSoftimageを起動し、キャプチャしたい画面を用意します。
2. マシンBからtelnetでマシンAへログインします。

3. マシンB上で、以下のコマンドを入力すればマシンAの画面がキャプチャできます。

```
> setenv DISPLAY :0
> scrsave out.sgi
```

4. キャプチャ後、,マシンAのカレントディレクトリにout.sgiというファイルができあがります。これはSGIフォーマットですので、ipasteコマンドなどでビューイングできます。

補足:

- scrsaveコマンドには領域指定のオプションもあります。詳細は man scrsaveとするとマニュアルが表示されますので、そちらをご参照下さい。

方法 3:

- この方法はプラグインを組み込む方法です。このSnapImageプラグイン自体はSoftimage Ver3.0時代にカスタエフェクトのサンプルとして、ToolsKitマニュアルに記載されていたものです。Softimageの4分割ビューの各ビューを指定でき、picフォーマットでセーブされる優れものです。ただし、古いものであるがゆえに以下の注意事項がありますので、あらかじめご了承下さい。
    - ○ ビューのリサイズ(wキーで大きさを変えるとか、縦長・横長にするなど)には対応していません。
    - ○ 古いカスタムエフェクトのフォーマットを使っているため、今後のバージョンに対応できるかどうか保証がありません。

- **ダウンロード:**

  SnapImageプラグイン: snap.tar

- **インストール:**

1. tar xvf snap.tar にて解凍します。SnapImage, SnapImage.cus, SnapShot.cusが現れます。この内、SnapShot.cusは、単にsnapshotコマンドを呼び出しているだけのおまけのプラグインですので、不要ならば捨てて下さい。(でも、便利なこ ともありますよ)

2. SnapImage.cus, SnapShot.cusを環境変数SI_CUSTOM_TOOLSで定義されているディレクトリに入れて下さい。(例:$SI_LOCATION/3D/custom/tools)

3. SnapImageをPATHが通っているディレクトリに入れて下さい。これはライブラリではなくシェルですので、LD_LIBRARY_PATHではなく、通常のPATHが通っているディレクトリに入れます。また、ファイルを実行可能なようにchmod +x SnapImageとしておいて下さい。(例:$SI_LOCATION/3D/custom/bin)

- **実行:**

1. Softimageを起動し、キャプチャしたい画面を用意します。

2. Tools − Output − SnapImage+ を実行します。
3. キャプチャしたいビューをダイアログから選択し、ファイル名を指定した後、OKとします。
4. カレントディレクトリにpicフォーマットでセーブされます。

- **補足**：
  SnapImageはシェルですので、テキストエディタで開いて編集が可能です。横長・縦長ビューへの対応なども可能でしょう。シェルが得意な方はぜひカスタマイズに挑戦してみて下さい。

［NTの場合］

方法 1：

- OS側で用意されているスクリーンショットの機能が使えます。これは、″Print Screen″キーを押すことによって、画面イメージをクリップボードへ送ることができる機能です。その後は、Photoshopなどでペーストすれば OKです。また、次のことにご注意下さい。
  - 画面イメージがクリップボードへ完全に送られるまで、少々時間がかかることがありますのでご注意下さい（特に起動し てから初めて実行したときなど）。
  - アイテムが選択状態でハイライトしているものはキャプチャされないことがあります。これは使用されているグラフィックボ ードにもよりますが、Edit SETENVにて set SI_OVERLAY=USE_ONE_BIT を定義しておけば、キャプチャできる場合もあります。
  - Softimageは純粋なWindows APIを使ったアプリではありませんので、残念ながら Alt + PrintScreenによるアクティブダイアログのみのスクリーンショット機能は使えません。

クリップボードの中身を見るには、″スタート″ − ″プログラム″ − ″アクセサリ″ − ″クリップボードビューア″で見ることができます。裏画面で常に表示しておくと便利です。また、クリップボードビューアが見あたらない場合は、NT4.0のCD-ROMに含まれておりますので、そちらからインストールして下さい。

方法 2：

- スクリーンショットを目的とした、フリーウェア・シェアウェアが幾つか出回っています。例えば、窓の杜の″画像・グラフ・プレゼン″のコーナーから幾つかのツールが入手できますので、ご自分の用途にあったものを探してみて下さい。シェアウェアの場合にはちゃんと料金を支払うことをお忘れなく。

≪ Back ／ Top ▲

″SOFTIMAGE 3D ／ FAQ&Tips″の内容に関するお問い合わせは、ユーザーIDをご記入のうえ、support@cg.comtec.daikin.co.jpまでお願い致します。

Copyright (c) 1996-2001 DAIKIN INDUSTRIES, LTD.

Last updated June 01, 2001. *Copyright (c) 1996-2001 DAIKIN INDUSTRIES, LTD.*
www-admin@comtec.daikin.co.jp